

「ヨコハマトリエンナーレ 2014」の開催準備状況について



1 開催概要

3年に一度、横浜で開催する日本を代表する現代アートの国際展です。

第5回展となる「ヨコハマトリエンナーレ 2014」は、アーティストック・ディレクターに森村泰昌氏を迎え、「東アジア文化都市 2014 横浜」の特別事業として開催します。

- (1) 展覧会名称 ヨコハマトリエンナーレ 2014
「華氏451の芸術：世界の中心には忘却の海がある」
- (2) 会 期 平成26年8月1日(金)～11月3日(月・祝)
開催日数：89日間 ※休場日：第1・3木曜日(計6日間)
- (3) 会 場 横浜美術館、新港ピア(新港ふ頭展示施設)
- (4) 開場時間 10:00～18:00 (一部の土曜日は20:00まで開場)
- (5) 主 催 横浜市、(公財)横浜市芸術文化振興財団、NHK、朝日新聞社
横浜トリエンナーレ組織委員会
- (6) 支 援 文化庁(国際芸術フェスティバル支援事業)
- (7) 特別協力 独立行政法人国際交流基金

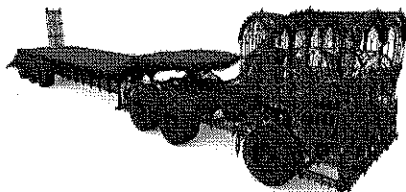
2 参加作家

新進気鋭の若手から世界的に活躍している作家まで、62組が参加します。

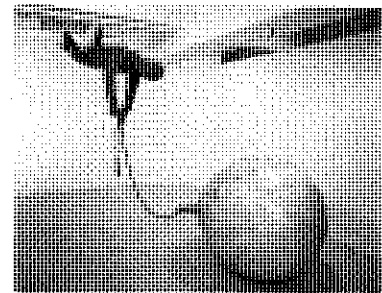
※今後、数組の作家を追加発表予定です。

最終的には65組程度、

70名を超える作家が参加する予定です。



ウィム・デルボア
《Flatbed Trailer》2007
©Studio Wim Delvoye, Belgium
Courtesy of MOMA, Australia



福岡直雄《飛ぶ鳥はかかった》1966
Photo: FUKUNAGAKazuo

3 チケット

(1) 券種・単価

		一般	大学・専門学校生	高校生
連携セット券(※)	前売券	2,000円	1,500円	1,100円
	当日券	2,400円	1,800円	1,400円
ヨコハマトリエンナーレ 2014 単体券	前売券	1,400円	900円	500円
	当日券	1,800円	1,200円	800円

※連携セット券は、ヨコハマトリエンナーレ2014と創造界限拠点連携プログラム「BankART Life IV」及び「黄金町バザール2014」にご入場いただけるセット券です。

※中学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料です。

(2) 販売場所・期間

販売場所：鉄道駅売店、各種プレイガイドなど
販売期間：前売券 平成 26 年 4 月 25 日(金)～7 月 31 日(木)
当日券 平成 26 年 8 月 1 日(金)～11 月 3 日(月・祝)

4 まちにひろがるトリエンナーレ

創造界限拠点や地域、市民の皆様との協働により、来場者の回遊性を高め、まち全体の賑わいを創出します。

(1) 創造界限拠点連携

BankART Studio NYK などの 5 つ全ての創造界限拠点が、トリエンナーレ開催期間に合わせアートプロジェクトを実施し、広報などの連携を図ります。

(2) 応援企画

区分	内容
応援プログラム	会期中に、NPO 団体をはじめとする市民の皆様が開催する文化芸術イベントを募集し、広報連携を実施。
応援グッズ	ヨコハマトリエンナーレ 2014 応援ロゴを使った商品を募集し、採用された商品を主会場のショップ等で販売。
周辺商業施設とのタイアップ	チケット提示割引や特別メニュー、ホテルでのチケット付宿泊プラン販売等。

(3) 市民協働（横浜トリエンナーレサポーター）

横浜トリエンナーレと一緒に盛り上げる市民サポーターで、1,354 名の皆様にサポーター登録していただいています（5 月 12 日現在）。

周知を目的とする、フリーペーパーの発行や開催前カウントダウンイベントなどを開催しています。会期中は、作品鑑賞ツアーガイドや会場周辺情報を提供するビクターセンターを運営します。

5 教育プログラム

これまでの展覧会に引き続き、次世代育成のプログラムを実施します。
教育委員会と連携しながら校長会を通じ、以下の各プログラムを周知します。

区分	内容
学校団体鑑賞	鑑賞を希望する学校団体を募集する。 希望学校には、鑑賞前に見どころを説明する無料サービスを実施。
ヨコハマトリエンナーレ 2014 ・夏の教室	作品鑑賞とワークショップで構成される「子どもによる、子どものための」プログラム。 中高生が、自ら企画する展覧会を巡るツアーに小学生を迎えて案内をする。

6 今後のスケジュール

7 月 31 日 内覧会・オープングレセプション
8 月 1 日～11 月 3 日 ヨコハマトリエンナーレ 2014 開催

華の海に沈む
世界の
忘れられた
記憶

ART Fahrenheit 451: Sailing into the sea of oblivion

Yokohama Triennale 2014

August 1 – November 3, 2014

Yokohama Museum of Art, Shinko Pier Exhibition Hall

ヨ
コ
ハ
マ

横浜発、
現代アートの国際展。

マ トリエンナーレ 2014

8.1 [金] – 11.3 [月・祝]

横浜美術館 + 新港ピア

新港ふ頭
展示施設

Y
E
C
H
A
M



Yokohama Triennale 2014

「華氏451の芸術：世界の中心には忘却の海がある」 “ART Fahrenheit 451: Sailing into the sea of oblivion”

参加作家/Participating Artists (計62組 [2014年4月1日現在] / Total of 62 artists as of Apr. 1, 2014)

※「参加作家」には、個人、団体名、プロジェクト名等を含みます。/ “Participating artists” include names of individuals, groups, and projects.

序章 アンモニュメンタルなモニュメント

Introduction Unmonumental Monuments

ウィム・デルボア / Wim DELVOYE
ギムホンソック / Gimhongsok

世界の中心にはなにがある？ What Is in the Center of the World?

マイケル・ランディ / Michael LANDY

第1話 沈黙とささやきに耳をかたむける

Chapter 1 Listening to Silence and Whispers

カルメロ・ベルメホ / Karmelo BERMEJO
マルセル・ブロータース / Marcel BROODTHAERS
ヴィヤ・セルミンズ / Vija CELMINS
イザ・ゲンツケン / Isa GENZKEN
フェリックス・ゴンザレス＝トレス / Felix GONZALEZ-TORRES
木村 浩 / KIMURA Hiroshi
ルネ・マグリット / René MAGRITTE
カジミール・マレーヴィチ / Kazimir MALEVICH
アグネス・マーティン / Agnes MARTIN
村上友晴 / MURAKAMI Tomoharu
ブリンキー・パレルモ / Blinky PALERMO
ジョシュ・スミス / Josh SMITH
イアン・ウィルソン / Ian WILSON

第2話 漂流する教室にであう

Chapter 2 Encountering a Drifting Classroom

釜ヶ崎芸術大学 / Kama Gei

第3話 華氏451はいかに芸術にあらわれたか ART Fahrenheit 451

Chapter 3

エリック・ボードレー / Eric BAUDELAIRE
ドラ・ガルシア / Dora GARCÍA
エドワード&ナンシー・キーンホルツ / Edward & Nancy Reddin KIENHOLZ
松本駿介 / MATSUMOTO Shunsuke
Moe Nai Ko To Ba
(装幀: 大家利夫、デザイン: 渡辺和雄、収録: 志賀理江子ほか / Bookbinding: OHIE Toshio, Graphic Design: WATANABE Kazuo, Works by: SHIGA Lieko and others)
奈良原一高 / NARAHARA Ikko
大谷芳久コレクション / OTANI Yoshihisa Collection
マイケル・ラコウィッツ / Michael RAKOWITZ

第4話 たった一人で世界と格闘する重労働

Chapter 4 Laboring in Solitude, Wrestling with the World

アリギエロ・ボエッティ / Alighiero BOETTI
福岡道雄 / FUKUOKA Michio
毛利悠子 / MOHRI Yuko
中平卓馬 / NAKAHIRA Takuma
サイモン・スターリング / Simon STARLING
和田昌宏 / WADA Masahiro
吉村益信 / YOSHIMURA Masunobu
張恩利 (ザン・エンリ) / ZHANG Enli

第5話 非人称の漂流 (仮題)

Chapter 5 Impersonal Chronicles (tentative)

第6話 おそろべき子供たちの独り芝居

Chapter 6 Monologues by *Enfants Terribles*

ジョゼフ・コーネル / Joseph CORNELL
松井智恵 / MATSUI Chie
ピエール・モリエ / Pierre MOLINIER
坂上チユキ / SAKAGAMI Chiyuki
グレゴール・シュナイダー / Gregor SCHNEIDER
アリーナ・シャポツニコフ / Alina SZAPOCZNIKOW
アンディ・ウォーホル / Andy WARHOL

第7話 光にむかって消滅する

Chapter 7 Vanishing into the Light

三嶋安住+三嶋りつ恵 / MISHIMA Anju + MISHIMA Ritsue

第8話 漂流を招き入れる旅、漂流を映しこむ海

Chapter 8 A Drifting Journey / A Sea Reflecting Fleeting Images

高山 明 / TAKAYAMA Akira
トヨタヒトシ / TOYODA Hitoshi

第9話 「華氏451」を奏でる (仮題)

Chapter 9 Performing “Fahrenheit 451” (tentative)

札幌国際芸術祭2014 / Sapporo International Art Festival 2014

第10話 洪水のあと (仮題)

Chapter 10 The Days after Deluge (tentative)

福岡アジア美術トリエンナーレ / Fukuoka Asian Art Triennale

第11話 忘却の海に漂う

Chapter 11 Drifting in a Sea of Oblivion

バス・ヤン・アデル / Bas Jan ADER
ジャック・ゴールドスタイン / Jack GOLDSTEIN
イライアス・ハンセン / Elias HANSEN
日笠直彦 / HINO Naohiko
笠原恵美子 / KASAHARA Emiko
葛西絵里香 / KASAI Erika
キム・ヨンイク / KIM Yongik
松澤 淳 / MATSUZAWA Yutaka
アナ・メンディエータ / Ana MENDIETA
メルヴィン・モティ / Melvin MOTI
大竹伸朗 / OHTAKE Shinro
殿敷 侃 / TONOSHIKI Tadashi
土田ヒロミ / TSUCHIDA Hiromi
ヤン・ヴォー / Danh VO
やなぎみわ / YANAGI Miwa
アクラム・ザタリ / Akram ZAATARI



エドワード&ナンシー・キーンホルツ / Edward & Nancy Reddin KIENHOLZ
《Billions》1977
© Kienholz
Courtesy of L.A. Louver, Venice, CA



張恩利 (ザン・エンリ) / ZHANG Enli
《The Sack》2014
Courtesy of the Artist/ShangArt Gallery



ドラ・ガルシア / Dora GARCÍA
《Fahrenheit 451(1957)》2002
© Dora Garcia
Courtesy of FRAC Bourgogne



やなぎみわ / YANAGI Miwa
台湾の移動舞台トレーラー (写真は32分の1の模型) 2014
1/32-scale model for mobile stage truck, 2014



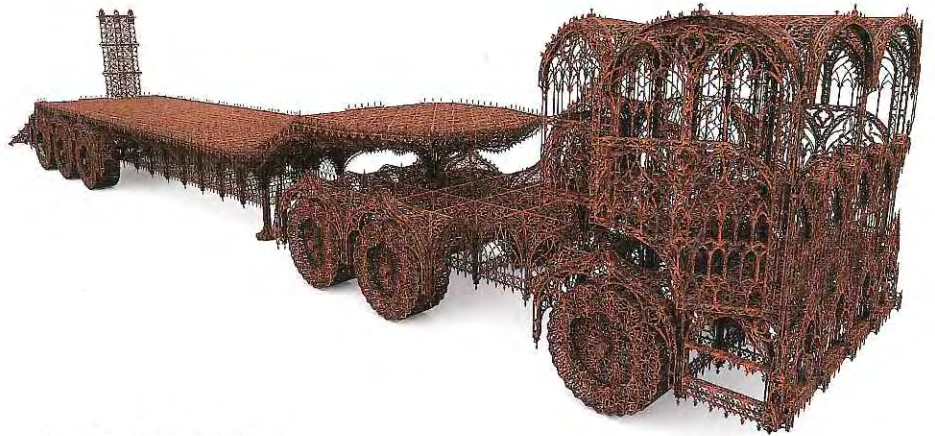
*サイモン・スターリング / Simon STARLING
《Project for a Masquerade(Hiroshima)》2010
Mask maker: MIICHI Yasuo



土田ヒロミ / TSUCHIDA Hiromi
《ヒロシマ1945-1979》より 1976
From “Hiroshima 1945-1979” 1976



大竹伸朗 / OHTAKE Shinro
 精想イメージ Concept image
 © Shinro Ohtake
 Courtesy of Take Ninagawa, Tokyo



ウィム・デルボア / Wim DELVOYE
 《Flatbed Trailer》2007
 © Studio Wim Delvoe, Belgium
 Courtesy of MONA, Australia



坂上チユキ /
 SAKAGAMI Chiyuki
 《砂漠の王女は睡もが如く (To H)》
 The princess of the desert
 in a deep sleep (To H)



*高山 明 /
 TAKAYAMA Akira
 《東京ヘテロトピア》2013
 Tokyo Heterotopia 2013
 Festival/Tokyo 13
 Photo: HASUNUMA Masahiro



マイケル・ランディ / Michael LANDY
 《Art Bin》2010, Installation view at South London Gallery



《法と星塵・Turn Coat / Turn Court》(写真は概念模型) 2014
 Model for Turn Coat / Turn Court -constitution-constellation 2014
 Photo: TAKAHASHI Satoru



福岡道雄 / FUKUOKA Michio
 《飛ばねばよかった》1966
 Why did I ever fly? 1966
 Photo: FUKUNAGA Kazuo



釜ヶ崎芸術大学 / Kama Gei
 絵画の授業の様子
 Painting class

ヨコハマトリエンナーレ2014

プログラム Yokohama Triennale 2014 Programs

まちにひろがるトリエンナーレ Triennale in the City

創造界隈拠点連携プログラム Creative City Core Area Tie-Up Programs

ヨコハマトリエンナーレ2014の会期中、主会場周辺で行われる多様なアートプログラム。
創造都市横浜ならではのラインアップをお楽しみいただけます。

*は「連携セット券」で入場できます。/会期の記載のないプログラムは、ヨコハマトリエンナーレ2014と同会期(8月1日[金]~11月3日[月・祝])の開催となります。

バンクアート スタジオ エヌ・ワイ・ケー
BankART Studio NYK
BankART Studio NYK
(NYK Waterfront Warehouse)



© BankART1929

BankART Life IV *

「東アジアの夢〜続・朝鮮通信使の
新たな展開とランドマークプロジェクトV」

BankART Life IV "Dreams of the East Asia
—A Contemporary Sequel for the Joseon-
Korean Diplomatic Expeditions Renewed & Landmark Project V"

2010年より推進している「続・朝鮮通信使」を日中韓及び東アジアに広げてツアー、
レジデンス、展覧会を展開。同時に歴史的建造物等を開きながらアートと地域との
連携をはかる「ランドマークプロジェクト」の第5弾を開催します。

主催: BankART1929 お問い合わせ: 045-663-2812 <http://www.bankart1929.com/>

はつこう ひのでもちょうちく
初黄・日ノ出町地区
Hatsuko/Hinode Area



Photo: Yasuyuki Kasagi

仮想のコミュニティ アジア
—黄金町バザール2014 *
Fictive Communities Asia
—Koganecho Bazaar 2014

2008年より開催しているアートフェスティバル。
アジアを中心とした国内外の若手アーティスト約30組の作品を
黄金町の街中に展開します。

主催: 認定NPO法人黄金町エリアマネジメントセンター、初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会
お問い合わせ: 045-261-5467 <http://www.koganecho.net/koganecho-bazaar-2014/>

象の鼻テラス
ZOU-NO-HANA TERRACE



SLOW LABEL THE FACTORY 2
Photo: 427 FOTIO

ヨコハマ・パトリエナーレ2014
Yokohama Paratriennale 2014

「障害者」と「多様な分野の
プロフェッショナル」の協働から生まれる
現代アートの国際展。

主催: 横浜ランデヴープロジェクト実行委員会、
特定非営利活動法人スローレーベル
お問い合わせ: 045-661-0602
<http://www.zounohana.com/>

スマートイルミネーション横浜2014
Smart Illumination Yokohama 2014

横浜の都心臨海部で新たな夜景の
創造を試みるアートイベント。

会期: 10月30日[木]~11月3日[月]
主催: スマートイルミネーション横浜実行委員会
<http://www.smart-illumination.jp/>

急な坂スタジオ
Steep Slope Studio



© Takaki Sudo

急な坂スタジオ×マームとジブシー
『歩行と移動』
Steep Slope Studio × mum & gypsy
"Walking and Moving"

急な坂スタジオのサポートアーティストが
制作した映像作品を市内各所に展示します。

会期: 9月1日[月]~30日[火](予定)
主催: 急な坂スタジオ お問い合わせ: 045-250-5388 <http://kyunasaka.jp/>

ヨコハマ創造都市センター(YCC)
Yokohama Creativecity Center (YCC)



Find ASIA

日中韓の現代アートを展示した空間に
アーティストがプロデュースするカフェ&ラウンジがオープン。

主催: ヨコハマ創造都市センター(YCC) (公財)横浜美術文化振興財団
お問い合わせ: 045-221-0325 <http://ycc.yafjp.org/>

応援企画 Yokohama Triennale 2014 Support Programs

ヨコハマトリエンナーレ2014と連携する公募プログラムです。
詳細はヨコハマトリエンナーレ2014公式ウェブサイトまで。

1 応援プログラム

ヨコハマトリエンナーレ2014の会期中に開催される文化芸術拠点、
NPO団体等が主催するイベント・企画を募集し、広報連携を図ります。

2 応援グッズ

ヨコハマトリエンナーレ2014の応援ロゴを使用した
オリジナルグッズを募集し、採用されたグッズは公式ショップなどで
販売・プロモーションされます。

横浜トリエンナーレサポーター Yokohama Triennale Supporter

ヨコハマトリエンナーレ2014を応援し、
一緒に盛り上げるボランティアスタッフを募集しています。
詳細は横浜トリエンナーレサポーター公式ウェブサイトまで。
<http://www.yokotorisup.com/>

展覧会関連プログラム Yokohama Triennale Related Programs

映像プログラム

Film Screening Program

本展タイトルの由来となった『華氏451』
(1966年、フランソワ・トリュフォー監督)のほか、
横浜美術館フィルムアーカイヴ、
本展参加作家の映像作品など
約30タイトルを上映します。

※最新情報は、ヨコハマトリエンナーレ2014
公式ウェブサイトまで。

www.yokohamatriennale.jp

ヨコハマトリエンナーレ2014・夏の教室

ヨコトリ号こども探検隊

展覧会を子どもだけで巡る特別企画「夏の教室」。
中高生が、小学生のためのプログラム「ヨコトリ号こども探検隊」の「船長」となり、
自ら企画する展覧会を巡るツアーに小学生を迎えて案内します。
作品鑑賞とワークショップで構成される2日連続のプログラムです。

開催日時: 8月18日[月]・19日[火] / 8月24日[日]・25日[月] 9:45~13:45
募集開始: 6月1日[日] 予定

参加・観覧料: 無料

対象・募集人数: 小学校高学年、各回20名(応募多数の場合、抽選)

*船長は「中高生のためのヨコトリ教室」(5~10月、全11回)で研修を積んだ中高生です。

「忘却巡り」の旅に出る

私達はなにかたいせつな忘れものをしてはいないだろうか。気がつかないまま先に進んでしまったり、ホントは気がついているのに、知らないふりをして立ち去ったり。そういう「忘却」の領域に敏感に反応する芸術表現がある。表現者がいる。

ヨコハマトリエンナーレ2014は、人生のうっかりした忘れもの、人類の恒常的な忘れもの、現代という時代の特殊な忘れものを思い出すための、いわば「忘却巡り」の旅である。

さまよい、とまどい、はっと感じとり、いろいろ想像し、そしてしばし立ち止まって考える。序章にはじまり、全部で11の挿話からなる、そんな心の漂流記。

いざ、「忘却の海」へ。

ヨコハマトリエンナーレ2014
アーティストック・ディレクター
森村泰昌

Embarking on a Voyage into the Sea of Oblivion

Haven't we left behind something that is fundamentally important? Have we moved on without realizing it, or simply, left it behind, while knowing it all along?

There are artists and artistic expressions that respond acutely to this realm of oblivion.

Yokohama Triennale 2014 will be a "voyage into the sea of oblivion." It will make us recall things that have been inadvertently lost from our lives, things that have been perpetually forgotten by human beings, and particular things that have been lost in the contemporary age.

Let us wander, feel perplexed, become inspired, broaden our imaginations, and stop and contemplate. Comprised of two introductions and a total of 11 chapters, Yokohama Triennale 2014 will provide us with an opportunity to compile a journal of a drifting mind.

Let us now sail into the Sea of Oblivion.

Yokohama Triennale 2014
Artistic Director
MORIMURA Yasumasa

森村泰昌
MORIMURA
Yasumasa



1951年、大阪市生まれ、同市在住。現代美術家。1985年、ゴッホの自画像に扮したセルフポートレート写真を発表。以後、一貫して「自画像的作品」をテーマに、美術史上の名画や往年の映画女優、20世紀の偉人たちなどに扮した写真や映像作品を制作している。
Artist. Born in 1951 in Osaka, where he continues to live and work. He made his debut in 1985 with self-portrait works based on his personal interpretation of Vincent van Gogh. He has since produced a number of self-portrait based photograph and video works, identifying with art-historical images, film stars, and iconic figures from the 20th century.

横浜トリエンナーレは、横浜市で3年に1度行なわれる現代アートの国際展です。
2001年に第1回展を開催、その後回を重ね、今年8月から開催する「ヨコハマトリエンナーレ2014」で第5回展開催を迎えます。

The Yokohama Triennale is an international exhibition of contemporary art that is held in Yokohama once every three years.
Since the inaugural event in 2001, the triennale has been held four times, with the fifth edition starting from August 2014.

ヨコハマトリエンナーレ2014

「華氏451の芸術：世界の中心には忘却の海がある」*

会期：2014年8月1日[金] - 11月3日[月・祝]

休場日：第1・3木曜日(8/7、8/21、9/4、9/18、10/2、10/16)

開場時間：10:00-18:00 ※入場は開場の30分前まで

[月1回土曜日(8/9、9/13、10/11、11/1)は20:00まで開場]

主会場：横浜美術館、新港ピア(新港ふ頭展示施設)

*本展タイトルの「華氏451の芸術」は、1953年に刊行されたレイ・ブラッドベリのSF小説「華氏451度」に由来しています。

[主催] 横浜市、(公財)横浜市芸術文化振興財団、NHK、朝日新聞社、横浜トリエンナーレ組織委員会

[支援] 文化庁(国際芸術フェスティバル支援事業)

[特別協力] 独立行政法人国際交流基金

[後援] 外務省、神奈川県、神奈川新聞社、tvk(テレビ神奈川)

[認定] 公益社団法人企業メセナ協議会

[協力] 住友ベークライト株式会社、日本航空、株式会社そごう・西武、そごう横浜店、株式会社ワコールアートセンター

Yokohama Triennale 2014

“ART Fahrenheit 451: Sailing into the sea of oblivion”*

Dates: August 1 - November 3, 2014

Closed: Aug. 7, 21 / Sept. 4, 18 / Oct. 2, 16

Open: 10:00-18:00 *Admission until 30 minutes before closing time

(Open until 20:00 on Aug. 9, Sept. 13, Oct. 11, and Nov. 1)

Main Venues: Yokohama Museum of Art
Shinko Pier Exhibition Hall

*The title "ART Fahrenheit 451" is derived from Fahrenheit 451, a 1953 science-fiction novel by Ray Bradbury.



[チケット情報 / Ticket]

お得な前売券を4月25日から7月31日まで鉄道駅売店、各種プレイガイド等で販売!!

Advanced ticket is on sale from April 25 to July 31. For more info: www.yokohamatriennale.jp

		一般	大学・専門学校生	高校生
連携セット券*	ヨコハマトリエンナーレ2014 + 創造界隈拠点連携プログラム [BankART Life IV / 黄金町バザール2014]	前売券 2,000円	1,500円	1,100円
		当日券 2,400円	1,800円	1,400円
単体券	ヨコハマトリエンナーレ2014	前売券 1,400円	900円	500円
		当日券 1,800円	1,200円	800円

*ヨコハマトリエンナーレ2014と創造界隈拠点連携プログラム「BankART Life IV」及び「黄金町バザール2014」にご入場いただける「お得な」セット券。

連携セット券は各連携会場で会期中有効のフリーパスと引き換えます。

●ヨコハマトリエンナーレ2014チケットは、1会場1日有効●中学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料●会場で20名以上同一券種の当日券購入の場合、それぞれ200円引きとなります。●チケット販売に関するお問合せ：チケット販売センター 045-461-3636(株式会社相鉄エージェンシー内) 受付時間：平日 10:00~12:00/13:00~17:00●他詳細はヨコハマトリエンナーレ2014ウェブサイトをご覧ください。 www.yokohamatriennale.jp



[主会場交通案内]

横浜美術館 / 横浜市西区みなとみらい3-4-1
みなとみらい線(東急東横線直通)「みなとみらい駅」下車、3番出口より徒歩3分
JR線及び横浜市営地下鉄線「桜木町駅」下車、「動く歩道」を利用、徒歩10分

新港ピア(新港ふ頭展示施設) / 横浜市中区新港2-5
みなとみらい線(東急東横線直通)「馬車道駅」下車、6番出口より徒歩13分

※主会場とBankART Studio NYK、初葉・日ノ出町地区を結ぶ会場間無料バス運行予定

[お問合せ先 / Contact]

横浜トリエンナーレ組織委員会
Organizing Committee for Yokohama Triennale
ハローダイヤル [日本語] 03-5777-8600
050-5541-8600 (8:00~22:00)
Information [English] 03-5405-8686 (9:00~18:00)
ヨコハマトリエンナーレ2014公式サイト
www.yokohamatriennale.jp